

(1) 平成24年 死亡災害発生状況 (確定版)

(平成24年12月末日現在)

業 種 \ 年 別		平成24年		平成23年		増減数	
製	造 業	9		7		2	
	食 料 品 製 造 業	1				1	
	織 維 製 品 製 造 業						
	木材・木製品・家具・装備品製造業			1		△ 1	
	パルプ・紙加工品等製造業						
	印 刷 ・ 製 本 業						
	化 学 工 業						
	窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	1		2			
	鉄 鋼 業			1		△ 1	
	非 鉄 金 属 製 造 業						
	金 属 製 品 製 造 業	1		3		△ 2	
	一般・電気・輸送用機械器具製造業	3				3	
	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業						
	そ の 他 の 製 造 業	3				3	
鉱	業						
	土 石 採 取 業						
建	設 業	17		12	3	5	△ 3
	土 木 工 事 業	8		3	1	5	△ 1
	建 築 工 事 業	7		7	2		△ 2
	木 造 等 家 屋 建 設 業	1		2	1	△ 1	△ 1
	そ の 他 の 建 設 業	2		2			
運	輸 交 通 業	8	5	11	6	△ 3	△ 1
	道 路 旅 客 運 送 業	1	1	1			1
	ハイヤー・タクシー業			1		△ 1	
	バス業	1	1			1	1
	道 路 貨 物 運 送 事 業	7	4	10	6	△ 3	△ 2
貨	物 取 扱 業						
	港 湾 運 送 業						
農	業 ・ 水 産 業 ・ 畜 産 業						
林	業	1		1			
そ	の 他 の 事 業	14	6	9	4	5	2
	卸 売 業 ・ 小 売 業	4	3	6	3	△ 2	
	通 信 業	1	1			1	1
	医 療 保 健 業						
	社 会 福 祉 施 設 業						
	清 掃 業 (除 く ビ ル メ ン)	4				4	
	ビ ル メ ン テ ナ ン ス 業	1				1	
	警 備 業	1				1	
	そ の 他 の 各 種 事 業	3	2	3	1		1
全	産 業 計	49	11	40	13	9	△ 2
全	国 死 亡 者 数	1,084	256	2,159	224	△ 1,163	8
九	州 ・ 沖 縄	139	28	106	21	20	4

- 「注」 1. 労働基準監督署からの災害報告の集計である。
2. 破線の右欄は内数で交通事故を表す。
3. 全国、九州・沖縄の死亡者数は平成24年12月末日の確定値である。

(2) 平成24年 月別・業種別死亡災害発生状況

(平成24年12月末日現在)

業 種 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	前年値	増減数
製 造 業	2	1		1	1		1	1	1		1		9	7	2
鉱 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採 石 業													0	0	0
建 設 業	0	2	0	0	2	2	3	2	1	2	1	2	17	12	5
土 木 工 事 業		1			1		1			2	1	2	8	3	5
建 築 工 事 業		1			1	1	1	2					6	7	-1
木造等家屋建設工事					1								1	2	-1
その他の建設業						1	1	1	1				3	2	1
運 輸 交 通 業	0	0	2	0	1	1	0	0	3	3	0	1	9	11	-2
道 路 貨 物 運 送 業			2		1				3	3		1	8	10	-2
貨 物 取 扱 業													0	0	0
農 業 ・ 水 産 業 ・ 畜 産 業													0	0	0
林 業	1												1	1	0
そ の 他 の 事 業	2	0	2	0	0	3	1	3	0	1	0	1	13	9	4
卸 小 売 業	1		1			2							4	6	-2
医 療 保 健 業													0	0	0
社 会 福 祉 施 設 業													0	0	0
清 掃 業 (除 く ビ ル メ シ)						1				1		1	3	0	3
ビ ル メ シ テ ナ シ ョ ン 業													1	0	1
警 備 業													1	0	1
そ の 他 の 各 種 事 業	1		1				1	1					4	3	1
全 産 業 計	5	3	4	1	4	6	5	6	5	3	3	4	49	40	9
前 年 値	2	2	3	5	3	5	10	2	1			4	2	3	
増 減 数	3	1	1	-4	1	1	-5	4	4	3	3	-1	1	0	

(注) 1. 労働基準監督署からの災害報告の集計である。

2. 死亡災害の右欄は内数で交通事故を表す。

(3) 平成24年 署別・業種別死亡災害発生状況

(平成24年12月末日現在)

業種 \ 署名	福岡中央	大牟田	久留米	飯塚	北九州西	北九州東	門司支署	田川	直方	行橋	八女	福岡東	合計	前年値	増減数
製造業	2		1		4	1						1	9	7	2
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採石業													0	0	0
建設業	4	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	3	17	12
土木工事業	1		1	3		1						2	8	3	5
建築工事業	3		2			1							6	5	1
木造等家屋建設工事	1												1	2	-1
その他の建設業			1	1								1	3	2	1
運輸交通業	0	0	2	2	3	1	0	0	0	0	1	0	9	11	-2
道路貨物運送業			1	2	3	1				1		1	8	9	-1
貨物取扱業													0	0	0
農業・水産業・畜産業													0	0	0
林業								1					1	1	0
その他の事業	5	4	2	1	1	0	2	1	0	0	1	0	13	9	4
卸小売業	1	1		1		1							4	6	-2
医療保健業													0	0	0
社会福祉施設業													0	0	0
清掃業(除くビルメン)		2								1			3	0	3
ビルメンテナンス業						1							1	0	1
警備業			1										1	0	1
その他の各種事業	4	3											4	3	1
全産業計	11	4	2	7	9	3	0	1	0	2	1	5	49	40	9
前年値	8	3	1	7	7	5	2	3	2	1	1	2	40	13	
増減数	3	1	1	6	2	-2	-2	-2	-2	1	0	3	9	-2	

「注」 1. 労働基準監督署からの災害報告の集計である。

2. 死亡災害の右欄は内数で交通事故を表す。

(4) 平成24年 事故の型別死亡災害発生状況

(平成24年12月末日現在)

業種	事故の型																				合計		
	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ・巻き込まれ	こすれ・すれ	踏み抜き	おぼれ	物との接触	高温・低温	有害物と触	感電	爆発	破裂	火災	「交通道路事故」	「交通その他事故」	無理な反動作		その他の	分類不能
製造業	1				1		6								1								9
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採石業																							0
建設業	7	1	0	2	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	17
土木事業	1	1			1	1	1			1	1								1				8
建築工事	4			1							1												6
木造等家屋建設工事	1																						1
その他の建設業	2			1																			3
運輸交通業	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	9
道路貨物運送業					1		3											5					9
貨物取扱業																							0
農業・水産業・畜産業																							0
林業						1																	1
その他の事業	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	13
卸小売業	1																	3					4
医療保健業																							0
社会福祉施設業																							0
清掃業(除くビルメン)							2										1						3
ビルメンメンテナンス業	1																						1
警備業							1																1
その他の各種事業	1																	3					4
全産業計	11	1	0	2	3	2	13	0	0	1	2	0	0	1	0	1	11	1	0	0	0	0	49
前年値	11				2	4	7										12	1				1	40
増減数	0	1	0	2	1	-2	6	0	0	1	0	0	0	1	0	1	-1	0	0	0	0	-1	9
増減率(%)	0	∞	0	∞	50	-50	86	0	0	∞	0	0	0	∞	0	∞	-8	0	0	0	0	-100	23

「注」1. 労働基準監督署からの災害報告の集計である。

(5) 平成24年 起因物別死亡災害発生状況

福岡労働局

(平成24年12月末日現在)

業種	動力機械						物上げ・運搬機械			その他の装置等								仮設物・建築物	物質・材料		荷	環 境 等	そ の 他	合 計	
	原 動 機	動力伝導機構	用木材加工機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学設備	溶接装置	炉・窯	電気設備	人力機械工具	用具	設置の他		危険物有害物	材					
																									料
製造業				1	3		1	1				1						1	1						9
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採石業																									0
建設業	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	1	0	4	0	17	
土木工事業				1				2											1	1		3		8	
建築工事業																1		4				1		6	
木造等家屋建設工事																1								1	
その他の建設業							1										2							3	
運輸交通業	0	0	0	1	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	
道路貨物運送業				1				5	1											2				9	
貨物取扱業																								0	
農業・水産業・畜産業																								0	
林業																						1		1	
その他の事業	0	0	0	1	0	1	0	4	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	13	
卸小売業								2	1							1								4	
医療保健業																								0	
社会福祉施設業																								0	
清掃業(除くビルメン)						1		1											1					3	
ビルメンサービス業																1								1	
警備業																								1	
その他の各種事業								1	2									1						4	
全産業計	0	0	0	4	3	1	2	12	4	0	0	1	0	0	0	3	0	8	3	3	0	5	0	49	
前年値				1	1	3	1	14	7							1		7		1		3	1	40	
増減数	0	0	0	3	2	-2	1	-2	-3	0	0	1	0	0	0	2	0	1	3	2	0	2	-1	9	
増減率(%)	0	0	0	300	200	-67	100	-14	-43	0	0	∞	0	0	0	200	0	14	∞	200	0	67	-100	23	

「注」 1. 労働基準監督署からの災害報告の集計である。

(6) 平成24年 死亡災害発生事例 (確定版)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
1	17:00～ 18:00 (月)	一般機械 器具製造 業	1～9	20代 男	被災者がマシニングセンタ（数値制御工作機 械）を使用し、アルミニウム部品を切削加工して いたところ、異音がしたため同僚労働者が駆けつ けたところ、マシニングセンタの内部で、自動工 具交換機のアーム先端が右側頭部に刺さった状態 の被災者を発見し、医療機関に搬送したものの2 月1日に死亡したものの。	はさまれ、巻き込 まれ	ボール盤、フラ イス盤	
2	15:00～ 16:00 (金)	林業	1～9	60代 男	切り倒した檜（直径約30cm、長さ約16 m）が近くで作業を行っていた被災者に倒れ落ち 被災した。救急車で病院に搬送されたが死亡が確 認されたものの。	激突され	立木等	
3	6:00～ 7:00 (土)	その他の 卸売業	1～9	60代 男	被災者は、会社のトラック（高さ2.8m、車 両総重量5.195t）によりスーパーへの納品 後、会社に戻る途上、高さ制限（2.5m）のあ る道路を走行したところ、車の上部が制限桁に激 突したことで、運転していた被災者が被災し、1 月23日に死亡したものの	交通事故（道路）	トラック	
4	8:00～ 9:00 (土)	旅行業	1～9	30代 男	日帰りバスツアーの観光バスが高速道路トン ネル内の追い越し車線を走行中、突如、走行車線 から追い越し車線へ車線変更してきたトラックに 激突され、バスに乗車していた添乗員が死亡、運 転手が足を打撲する怪我を負った。	交通事故（道路）	トラック	
5	18:00～ 19:00 (月)	一般機械 器具製造 業	10～29	60代 男	被災者は、金属加工用機械を使用してブラケ ットを加工中、当該金属加工用機械の主軸に取り 付けられた研削部分に作業服（腰部）が巻き込ま れ、主軸の回転のとおり身体が回転、同僚労働者 がこれを発見し、主軸の回転を止めて被災者を病 院に搬送したが、死亡したものの。	はさまれ、巻き込 まれ	ボール盤、フラ イス盤	
6	16:00～ 17:00 (火)	その他の 建築工事 業	10～29	60代 男	木造平屋建ての廃工場の解体作業において、作 業のために被災者が地面からの高さ4.92mの 梁上を移動していたところ、地面へ墜落したも の。	墜落、転落	屋根、はり、も や、けた、合掌	
7	1:00～ 2:00 (金)	道路建設 工事業	1～9	30代 男	被災者は、道路舗装工事現場内の緩やかな坂道 において、他の作業員3名と施工材の搬入作業を 行っていたところ、坂道上方に停車していた無人 の10トンダンプ車が後退し始め、逃げ遅れた被 災者が轢かれたものの。	はさまれ、巻き込 まれ	トラック	
8	13:00～ 14:00 (金)	その他の 土石製品 製造業	1～9	50代 男	被災者はドラグショベルの運転手とともに重さ 約800kgの敷鉄板を移動させる作業を行ってい た。 運転手がドラグショベルによって敷鉄板を吊上 げ、コンクリートブロックに立てかけ、次に被災 者が敷鉄板に掛けられていた玉掛ワイヤーを外し ていたところ、運転手が被災者が当該ワイヤーを 外し終わると誤認し、旋回したところ、敷鉄板 が被災者の方に倒れ、下敷きとなり死亡したも の。	崩壊、倒壊	ドラグショベル	

(6) 平成24年 死亡災害発生事例 (確定版)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
9	16:00～ 17:00 (土)	一般貨物 自動車運 送業	1～9	50代 男	被災者らは「超強力吸引車」のタンクに集めた粉を、タンクを傾斜させ(ダンプさせ)、タンク後部のハッチを開けて、手作業で袋に投入する作業を行い、袋投入作業が終わると、傾斜させていたタンクを水平に戻し、ハッチを閉めたところ、閉塞部の清掃を行っていた被災者がハッチに挟まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	ドラグショベル	
10	16:00～ 17:00 (木)	一般貨物 自動車運 送業	1～9	50代 男	被災者は、荷卸し先倉庫敷地内において、運転してきたトレーラーの荷台からコイル状の鋼材の荷卸し作業中に、当該鋼材4巻(約2.8トン、直径約1.5m)が何らかの原因で倒れたため、その下敷きになったもの。	崩壊、倒壊	金属材料	
11	13:00～ 14:00 (金)	一般飲食 業	10～29	20代 男	宅配用原付バイクにて配達帰り、片道2車線道路の緩やかな左カーブでバランスを崩し、対向車線に転倒した際に対向車線を走行してきた乗用車にはねられたもの。	交通事故(道路)	乗用車	
12	16:00～ 17:00 (月)	新聞販売 業	30～49	60代 女	被災者は、原付自転車を運転して新聞代金の集金業務を行っていたが、交差点を進行中に軽乗用車と衝突したものの。	交通事故(道路)	乗用車、バス、 バイク	
13	14:00～ 15:00 (水)	機械修理 業	1～9	40代 男	被災者は定修作業において、ブロアーの整備作業中に金属製の円形の蓋を取り外していたところ、爆発音とともに蓋が外れ、被災者に激突し転倒した際に頭部を強打したものの。	爆発	可燃性ガス	
14	14:00～ 15:00 (金)	木造家屋 建築工事 業	1～9	60代 男	被災者は、木造2階建て住宅の雨戸修理工事現場において、住宅2階の戸袋の撤去を行っていたところ梯子から地面に墜落したものの。	墜落・転落	用具(梯子)	
15	9:00～ 10:00 (土)	上下水道 工事業	10～29	50代 男	住宅市街地総合整備事業におけるよう壁築造工事において、車両系建設機械で床掘した場所に作業員を入れ、スコップを使用して掘削面を調整していたところ、L字型に隣接する法面(高さ5m)が崩壊し、作業員が生き埋めとなった。直ちに救助し、病院に搬送したが、頭蓋骨骨折、脳挫傷にて死亡したものの。	崩壊、倒壊	地山、岩石	

(6) 平成24年 死亡災害発生事例 (確定版)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
16	11:00～ 12:00 (土)	道路貨物 運送業	1～9	50代 男	資材置場内に設置されていた覆工板を立てかけた状態で保管する設備(型钢を溶接加工した構造)上において、覆工板と設備の一部との間に挟まれた状態で発見されたもの。トラックに覆工板を積込作業中に被災したものと推定される。	はさまれ、巻き込まれ	金属材料	
17	23:00～ 0:00 (土)	その他の 食料品製 造業	100～299	20代 男	被災者は、精製工場において運転日報等をつけるために、午後10時30分頃から、単独で巡視を行っていたが、午後11時30分頃になっても戻って来ないため、不審に思った同僚が工場内を捜したところ、午後11時50分頃、脱臭塔の西側下で倒れている被災者を発見した。脱臭塔の7階(高さ約26m)付近の通路から何らかの理由により墜落したものと考えられる。	墜落・転落	建築物・構築物	
18	15:00～ 16:00 (土)	その他の 建築工事 業	10～29	50代 女	被災者は賃貸住宅の退去部屋(9階)の間取り改善工事の仕上げである清掃作業を行っていたが、同室ベランダ部分から約2.6m下の地上に転落した。その後病院に搬送されたが、2時間後に死亡した。	墜落、転落	建築物、構築物	
19	17:00～ 18:00 (金)	その他の 廃棄物処 理業	10～29	40代 男	ごみ固形燃料(RDF)化施設において、ベルトコンベアを回転させるドラムと底板の間に、被災者は上半身を挟まれた状態で発見された。被災者は、病院に搬送された約1時間後に死亡。被災者は、点検口の扉を開けてコンベア部分に溜まったゴミを手かざ棒で取り除く作業を行っていたと思われる。	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機	
20	17:00～ 18:00 (金)	バス業	1～9	50代 男	高校のハンドボール部の生徒27名と引率の教諭2名を乗せた大型バスが九州縦貫自動車道宮崎線下りを宮崎方面に向かい走行中、中央分離帯に衝突し、バスの運転手が全身を強く打ち死亡したものである。	交通事故(道路)	乗り物(バス)	
21	14:00～ 15:00 (火)	電気通信 工事業	1～9	50代 男	小型移動式クレーン(車両積載型)を用いてコンクリート製電柱を当該車両の荷台に積込むため、電柱を1本吊りで約1m吊り上げ、被災者が電柱の一端を押しながら電柱を回転させていた際、前方のアウトリガーが浮き上がり、車体が吊り荷側に傾いて電柱が落下し、被災者が電柱の下敷きになった。	飛来・落下	移動式クレーン	
22	5:00～ 6:00 (木)	その他の 卸売業	30～49	50代 男	九州自動車道下り線を走行中の被災者らのトラックが、前方を走行していたトラックに追突、追突したトラックの左前方、追突されたトラックの右後方が激しく破損し、追突したトラックの助手席に乗車していた被災者が死亡、運転士は1週間の入院、追突されたトラック運転士については、検査の結果異常は認められなかった。	交通事故(道路)	トラック	

(6) 平成24年 死亡災害発生事例 (確定版)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
23	13:00～ 14:00 (木)	その他の 卸売業	10～29	50代 男	事務所の窓の外側に緑のカーテン(日除け用の 植栽)を作る作業を行っていた被災者が、脚立 (高さ2m)とともに地面に仰向けに倒れている ところを通りかかった他の作業員が発見した。作 業は被災者1名で行っており災害発生時の状況は 不明である。保護帽の着用なし。	墜落・転落	用具(はしご 等)	
24	10:00～ 11:00 (月)	その他の 土木工事 業	1～9	60代 男	公園の樹木の剪定作業中に、樹木より墜落し、 死亡したものの	墜落・転落	立木等	
25	9:00～ 10:00 (火)	その他の 建設業	1～9	50代 男	工場のスレート葺き屋根上で、傷んだスレート 板の取替作業中、スレートを踏み抜いて約5メー トル下のコンクリート床に墜落したものの。	墜落・転落	建築物、構築 物	
26	9:00～ 10:00 (木)	旅館業	30～49	50代 男	被災者が、地上8階建てのホテルの屋上から墜 落し、西側の駐車場に駐車されていた軽自動車 の横に倒れているところを発見された。屋上には、 のぼりの上げ下ろし装置(手動)があり、のぼり の設置状況を確認していたところ、誤って墜落 したものと推定される。	墜落・転落	建築物、構築 物	
27	9:00～ 10:00 (土)	機械修理 業	1～9	30代 男	出張作業により、工場内に設置されているスタ ッカークレーンの年次点検を実施中。昇降機が 自然に落下し、昇降機の下で作業を行っていた被 災者と同僚が昇降機とローラーコンベアのフレ ームに挟まれ、被災者は死亡、同僚も腰部を負 傷した。	はさまれ、巻き 込まれ	クレーン	
28	11:00～ 12:00 (火)	鉄骨・鉄 筋コンク リート造 家屋建築 工事業	1～9	10代 男	7月24日、市営住宅外壁改修工事において、使 用した足場の解体作業中、午前11:30頃、被災 者が体調不良を訴えたため、休憩させていたと ころ、午後0:10頃、症状が悪化していると判 断されたことから、近くの病院に搬送したが、直 ちに総合病院に移送され加療中のところ、3日 後の午前、熱中症による多臓器不全により死 亡。	高温・低温の物 との接触	高温・低温環 境	
29	14:00～ 15:00 (水)	ビルメン テナンス 業	10～29	40代 男	3名で昼から病院の清掃作業を開始し、被災 者は病院の2階の窓を掃除するため、梯子(高 さ4.8メートル)を労働者1人に支えさせて窓 ふき作業をしていたが、梯子が傾き転落してア スファルトの地面に頭部等強打した。被災者は 病院へ搬送されたが、翌日早朝に死亡した。作 業時、ヘルメット、安全带等の着用はしてい なかった。	墜落・転落	用具(はしご 等)	
30	13:00～ 14:00 (水)	通信業	50～99	50代 男	集金業務のため、原付バイクを運転中に、中 央線を越えて走行してきた乗用車に衝突され 死亡した。	交通事故(道 路)	乗物(バイ ク)	
31	14:00～ 15:00 (木)	警備業	30～49	50代 男	排水路新設工事の作業現場において、占有区 域へダンプカーを誘導していた被災者が、後 進してきたドラグショベルに轢かれたもの。	はさまれ、巻き 込まれ	掘削用機 械	

(6) 平成24年 死亡災害発生事例 (確定版)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
32	10:00～ 11:00 (金)	その他の 建築工事業	1～9	50代 男	S造の家屋解体工事において、ドラクショベルを用いて2階屋根スラブを解体中、下がっていたコンクリート片をバケットで下へ引っ張った時、コンクリート片が振り子のように振れ、ドラクショベルの方へ飛来してきた。コンクリート破片は、一旦、ドラクショベルの運転席上部へ激突したのち、横で水まきをしていた被災者の頭部に激突、被災者は下敷きとなった。ヘルメット着用なし。	飛来、落下	建築物、構築物	
33	15:00～ 16:00 (月)	自動車・ 同付属品 製造業	10～29	10代 男	プレス機械にて部品の加工中、金型に付着した異物を確認しようとして金型に挟まれ死亡した。	はさまれ、巻き込まれ	プレス機械	
34	18:00～ 19:00 (火)	鉄骨・鉄 筋コンク リート造 家屋建築 工事業	1～9	20代 男	ビル屋上の足場解体中、枠組み足場(2層2スパン)と共に35m下の連絡通路に墜落し死亡した。	墜落・転落	足場	
35	6:00～ 7:00 (水)	一般貨物 自動車運 送業	30～49	30代 男	配送先で荷卸後帰社するため県道35号線を走行中、中央分離帯に乗り上げた後、道路左側のガードレールを突き破り、電柱に衝突後停止したもの。	交通事故(道路)	トラック	
36	7:00～ 8:00 (土)	一般貨物 自動車運 送業	10～29	50代 男	東九州自動車道において、タンクローリー(14トン)が路側帯に停止していた大型トラック(12トン)に追突した後、トンネル内で横転。タンクローリー車の運転者が頭を強く打ち死亡したもの。	交通事故(道路)	トラック	
37	20:00～ 21:00 (火)	一般貨物 自動車運 送業	10～29	60代 男	被災者は、雑貨を積載した10トントラックを運転し、第2東名高速道路を東京に向かっての途中、前方を走行中の車両(移動式クレーン)の後方に衝突した。	交通事故(道路)	トラック	
38	16:00～ 17:00 (火)	機械器具 設置工事業	1～9	30代 男	工場の新築工事現場で天井クレーンの取付作業を行っていた際、被災者はレールを取り付けるため、組立中の足場を移動していたところ、足場調整枠の足場板設置前の開口部から、9.15メートル下の地面に墜落したもの。	墜落・転落	足場	
39	8:00～ 9:00 (土)	その他の 金属製品 製造業	10～29	40代 男	自動溶接装置のスチール棒溶接箇所に入り作業をしていたところ、スチール棒引き込み装置に挟まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	その他の溶接装置	
40	14:00～ 15:00 (水)	その他の 土木工事業	10～29	60代 男	被災者は、河川敷において、熊手を用いた集草作業を行っていたが、14時45分頃、除草作業現場の河川内でおぼれた状態で発見された。被災者が最後に目撃された時刻は、14時頃から14時30分頃までの間である。	おぼれ	水	

(6) 平成24年 死亡災害発生事例 (確定版)

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物	備考
41	9:00～ 10:00 (木)	道路建設 工事業	10～29	60代 男	被災者は、午前9時頃から、住宅外溝工事にて、電動工具を用いて既存のコンクリートの切断作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルにより損傷したガス管から漏れて滞留していたプロパンガスに電動工具のモーターもしくはコンクリート部を切断している際の火花が着火源となり、引火し、全身を火傷した。	高温・低温の物との接触	可燃性のガス	
42	10:00～ 11:00 (月)	産業廃棄物 処理業	1～9	60代 男	廃材(木材)を粉砕機を使用し粉砕作業を行っていた。作業内容はグラブで廃材を粉砕機に投入し、粉砕された廃材は、マグネットを装着した重機で混在している金属を取除き、粉砕された廃材を山に寄せていた。グラブのオペレーターである被災者の姿がなかったため捜したところ、粉砕機内に血痕があったため被災者は巻き込まれたと思われる。現認者なし。	はさまれ、巻き込まれ	混合機、粉砕機	
43	8:00～ 9:00 (木)	一般貨物 自動車運 送業	10～29	40代 男	客先事業場木材チップ刈置き場において、被災者はトラックにて木材チップを搬入した後、トラックを降りて木材チップ仮置き場に行き、チップサンブルを採取していたところ、客先労働者が運転した後進しているトラクターショベルに轢かれた。	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・ 積み込み用機 械	
44	11:00～ 12:00 (木)	その他の 土木工事 業	1～9	50代 男	住宅地内の雑木伐採業務において、雑木林内でクローラ式自走式高所作業車(最大高さ12.1m)を使用して高さ10m以上の位置で大木の枝切り作業中、高所作業車がブームを伸ばした状態で転倒し、バスケットに乗っていた被災者が地面に投げ出されたもの。	転倒	高所 作業 車	
45	11:00～ 12:00 (木)	機械修理 業	1～9	20代 男	ベルトコンベア(S1-5BC)のプーリー取替作業に際して、被災者は、元請より指示されたベルトコンベア(粉-9BC)にかかるテンションウェイトを緩めるため、玉掛作業を行っていたところ、突然このベルトコンベアが動き出し、被災者はウェイトとプーリーとの隙間20cmに体を巻き込まれ、被災した。	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	
46	9:00～ 10:00 (金)	河川土木 工事業	1～9	60代 男	被災者は、現場内の農道で、同僚Aが運転する貨物自動車(土砂積載)を、ドラグショベルの停車箇所までバックで誘導していたが、その直後、貨物自動車後部とドラグショベル後部の間に身体を挟まれた状態で発見された。	交通事故(その他)	トラック	
47	11:00～ 12:00 (土)	河川土木 工事業	1～9	40代 男	橋梁の撤去工事において、橋桁の下部工をカッターで分割解体し、それを移動式クレーンで吊り、トラックに積み込む際に吊っていたコンクリートが割れて落ち、倒れてきたコンクリートの下敷きになり被災したものの。	激突され	石、砂、砂利	
48	10:00～ 11:00 (水)	その他の 清掃・と 畜業	30～49	30代 男	廃プラスチックを原料として分解油を製造する「廃プラ油化施設」において、火災が発生し、同施設の運転業務を行っていた作業員2名が火傷を負い、入院・加療中であったが、そのうちの1名が平成25年1月26日に死亡した。被災者2名は、廃プラ油化施設の内部圧力が上昇したため、残さ油を取り出すダストキャッチャーのバルブをあけている時、油分が一気に出て何らかの火元により引火したものと考えられる。	火災	引火物	
49	11:00～ 12:00 (火)	一般貨物 自動車運 送業	50～99	60代 男	当日の作業を終えた被災者が、トレーラーで荷主先から帰社する途中、片側2車線の湾岸道路を横道から右折しようとして停止線を越えて湾岸道路に進入したところ、右方から湾岸道路を直進してきた大型トラックと衝突した。	交通事故(道路)	トラック	